

令和7年2月10日（月）吉川市立北谷小学校

1 日時

令和7年2月10日（月）午前9時30分～午前11時40分

2 場所

吉川市立北谷小学校 1階図書室

3 出席者

（北谷小学校） 校長 小林 央士 教頭 橋本 隆弘

（学校運営協議員） 7名（個人情報保護のため、ご氏名の公開は控えさせていただきます）

4 協議事項

- (1) 令和6年度 主な教育活動について
- (2) 令和6年度 学校評価について
- (3) 令和6年度 学校運営の成果と課題について
- (4) 令和7年度 学校経営の基本方針について
- (5) 令和7年度 主な行事予定について
- (6) 意見交換
- (7) 校内授業視察

5 学校からの発表の概要（令和6年度 学校経営の成果と課題）

- (1) 「笑顔と絆で子供たちのたくましく生きる力を育てる」という令和6年度の重点目標に向け、食育をテーマに全学年で生活科や総合的な学習の時間に探究型学習を展開し、全ての教育活動で「たくましく生きる力」の向上を目指した。年度はじめ（5月）と11月の学習成果発表会後に全校児童を対象に実施したアンケートでは「やりぬく力（意欲・向上心）」が5～9%、「おちつく力（自制心）」が4～6%とそれぞれ上昇した。「つながる力（コミュニケーション力）」は僅かながら低下した。教職員、保護者による自己評価も数値が高く、このことをもって目標をある程度達成したと考える。
- (2) 国語の指導法改善に校内研修を通して臨み、「読む力」の向上に取り組んだ。今年度は説明文の読解を中心に指導法の改善に努めた。読む視点の明確化や段落構成や各段落の役割に関する理解、グループ学習の推進やICT機器の積極的な活用を行った。その結果県学力学習状況調査の国語の学力が上昇した。
- (3) 生徒指導においては、いじめ事案に対する対応100%、不登校児童の減少に臨んだ。いじめ事案は100%対応を達成した。不登校児童は減少こそ果たせなかったものの、「不登校支援ケース会議」を定期的に開催し、不登校児童に全教職員がどのように関わるかを共通理解して組織的な解決を目指した。不登校児童本人や保護者との連絡を絶やさず、教育センターや関係諸機関と連携した。
- (4) 体力向上については、教科体育の充実、運動会、持久走記録会、縄跳び記録会等体育的行事への取り組みの教科（めあて学習の推進）、休み時間の外遊びの奨励等に取り組んだ。その結果、令和6年度の新体力テストの結果において各種目の平均と同程度から上回る児童の割合

が82%と向上し、目標を達成した。また、食育指導に全校で取り組んだため、給食の残菜率が市内小中学校で常に上位となる等、食に関する知識の習得や健全な食生活への意識啓発をある程度達成した。

- (5) 課題として、学校内外の挨拶の更なる推進、児童の正しい言葉遣いの向上、清掃指導の充実、算数科の基礎的・基本的な学力の向上等が挙げられる。令和7年度に具体的な改善策を立案し、組織を挙げて実践していきたい。

6 委員からの意見概要

- (1) 土日の体験活動について、働き方改革と両立していくのは難しいと思うが継続を望む。
- (2) 子供たちが取り組める体験活動が豊富で、伸び伸びと参加できていてよい。学校の除草については、もっと地域の助力を請うべきだと思う。
- (3) 学校の取り組みは熱心でありがたい。しかし、そこまでやるのかという印象をもった。家庭の教育力を伸ばす取り組みがあるとよい。
- (4) 保護者と地域の考え方に違いが出てきていると感じる。
- (5) 吉川美南駅北口の開発により、今後児童数が増えると予想される。教職員数の確保など、対応は大丈夫か。市教委と連携し、早めの対応をお願いしたい。
- (6) 運動会の実施時期の変更について、検討することはよい。他の行事の実施時期の検討と合わせて、熱中症を防ぎつつ、教育効果を高める工夫をしていく必要がある。

